



12月の採用薬品

ニフェジピンL錠10mg「サワイ」

持続性Ca拮抗剤／高血圧・狭心症治療剤
沢井製薬株式会社



【効】【用】

<本態性高血圧症、腎性高血圧症>
ニフェジピンとして、通常成人1回10～20mgを1日2回経口投与する。
症状に応じ適宜増減する。

<狭心症>
ニフェジピンとして、通常成人1回20mgを1日2回経口投与する。
症状に応じ適宜増減する。

【副】添付文書参照

※同一成分のニフェジピンL錠10mg「トーフ」が販売停止のため

12月の採用薬品（限定採用薬品）

アポハイドローション20%

原発性手掌多汗症治療剤

久光製薬株式会社

【効】原発性手掌多汗症
【用】1日1回、就寝前に適量を両手掌全体に塗布する。
【副】添付文書参照



テリルジー200エリプタ30吸入用

喘息治療配合剤

グラクソ・スミスクライン

【効】気管支喘息（吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2刺激剤の併用が必要な場合）
【用】通常、成人にはテリルジー100エリプタ1吸入を1日1回吸入投与する。なお、症状に応じてテリルジー200エリプタ1吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして200μg、ウメクリジニウムとして62.5μg及びビランテロールとして25μg）を1日1回吸入投与する。
【副】添付文書参照



レパーサ皮下注140mgペン

ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤

アムジエン株式会社

【効】家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症
ただし、以下のいずれも満たす場合に限る。
・心血管イベントの発現リスクが高い
・HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分、又はHMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が適さない
【用】<家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体及び高コレステロール血症>
通常、成人にはエボロクマブ（遺伝子組換え）として140mgを2週間に1回又は420mgを4週間に1回皮下投与する。
<家族性高コレステロール血症ホモ接合体>
通常、成人にはエボロクマブ（遺伝子組換え）として420mgを4週間に1回皮下投与する。効果不十分な場合には420mgを2週間に1回皮下投与できる。なお、LDLアフェレーシスの補助として本剤を使用する場合は、開始用量として420mgを2週間に1回皮下投与することができる。
【副】添付文書参照



ブドウ糖の外来処方オーダーについて

- α-グルコシターゼ阻害薬（アカルボース、ボグリボース）処方の場合
従来通り、メーカーより低血糖対策用のブドウ糖が無償提供があるため、
処方は不要。（必要な包数等はコメント入力してください。）
- α-グルコシターゼ阻害薬以外（インスリンなど）の糖尿病薬処方の場合
ブドウ糖の頓用処方が必要（メーカーよりブドウ糖の無償提供なし）
処方例）
ブドウ糖10g/包 1回1包 低血糖時 10回分

マニュアル改訂のお知らせ

- ①医薬品安全使用のための業務手順書 第10版
 - 「第1章 医薬品の採用」
採用区分名称の変更
 - 「第23章 医薬品関連情報システムの利用」
システム管理者やシステムの使用方法を現状に沿って記載
- ②麻薬の取り扱い 令和6年12月改訂
 - 「4.保管および取り扱い上の注意」
夜間、休日における麻薬の使用に関する運用を追加記載

※詳細につきましては各マニュアルをご確認ください

